

2014年度第3四半期決算の概要及び 2014年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2015年2月4日

目次

1. 2014年度第3四半期決算の概要

1)2014年度第3四半期の事業概況およびトピックス	… 1、2
2)決算の概要	… 3、4
3)セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年実績)	… 5
4)営業外損益の内訳	… 6
5)特別損益の内訳	… 7
6)貸借対照表	… 8
7)キャッシュ・フロー計算書	… 9

2. 2014年度業績予想の概要

1)2014年度 第4四半期のトピックス	…10
2)業績予想の概要	…11
3)セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年実績)	…12
4)セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前回予想)	…13
5)営業外損益の内訳	…14
6)特別損益の内訳	…15
7)キャッシュ・フロー計算書	…16
【補助資料】主要製品価格の状況	…17
【補助資料】2014年度 第3四半期までのトピックス	…18

1. 2014年度第3四半期決算の概要

<事業概況>

- ◆メガネレンズモノマー、不織布等のヘルスケア材料および農薬は、海外需要拡大に伴って堅調に推移。
- ◆エラストマー、PPコンパウンド等の自動車関連材料は、北米を中心に海外の需要好調が継続、また機能性ポリマーも、スマートフォン等電子情報関連材料向けを中心に好調が継続。
- ◆国内石化事業については、ナフサクラッカーが4~12月を通じて90%程度の稼働率を確保、第3四半期のナフサ価格の下げ幅も限定的であったことから、在庫評価損影響は軽微。ポリオレフィン事業も、堅調に推移。
- ◆大型市況製品の構造改革も予定通り進捗。また第2、3四半期のフェノール類等の交易条件改善を受け、基礎化学品事業の赤字が縮小。ポリウレタン材料事業についても、海外市況の低迷が継続するものの、円安等の影響により赤字が縮小。

<第3四半期トピックス>

(主な成長投資、新規稼働等)

- ・たはらソーラー・ウインド営業運転開始 (14年10月)
- ・韓国でのマーケティング拠点「三井化学(株) 韓国支社」を設立 (14年10月)
- ・五感や五体の課題を抱える人々に革新的なヘルスケア・ソリューションを提供するブランド「Whole You™」が誕生 (14年11月)
- ・新規特殊イソシアネート2製品の事業化決定 (2,000t/年 : 14年12月)
16年度上期に大牟田工場内に2,000t/年の増強を行い、量産体制を整える予定。
- ・中国EPT(SSME)稼働開始 (7.5万t/年 : 14年12月)
- ・韓国SKC社とのポリウレタン材料事業統合に関する合弁契約締結 (14年12月)

(構造改革、合理化)

- ・有機酸事業承継の事業(営業権)譲渡 (14年10月)
生産設備(生産能力:無水リン酸 3.2万t/年、リン酸 1.5万t/年)については、TDI設備等の撤去工事終了後(17年度上期中を目途)
- ・千葉地区LLDPE設備1基停止 (6万t/年 : 14年10月)
- ・中国PH(SSMC)稼働開始 (PH 25万t/年、AC 15万t/年 : 14年12月)

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-12月決算	14年度 4-12月決算	増減	増減率
売上高	11,088	11,652	564	5%
営業利益	151	327	176	116%
営業外損益	△10	39	49	—
経常利益	141	366	225	160%
特別損益	△229	△34	195	—
税金等調整前 四半期純利益	△88	332	420	—
四半期純利益	△185	190	375	—
為替レート(円/\$)	99	107	8	
国産ナガ(円/KL)	65,700	68,900	3,200	

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度 決 算	14年度 4-12月決算	増減	増減率
有 利 子 負 債	5,813	5,654	△159	△3%
Net 有 利 子 負 債	5,093	5,155	62	1%
自 己 資 本	3,528	3,953	425	12%
Net D / E レシオ (倍)	1.44	1.30	△0.14	—
自己資本比率 (%)	24.6	27.3	2.7	—

(単位：社)

摘 要	13年度 4-12月 決算	13年度 決算 (a)	14年度 4-12月 決算(b)	増減 (b)-(a)	備考
連 結 対 象 会 社 数					
連 結 子 会 社	98	97	100	3	
持 分 法 子 会 社	8	8	8	0	
持 分 法 関 連 会 社	32	30	30	0	
連 結 対 象 会 社 計	138	135	138	3	

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年実績)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳		
	13年度 4-12月 決算	14年度 4-12月 決算	増減	13年度 4-12月 決算	14年度 4-12月 決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
機能化学品	1,274	1,584	310	121	104	△17	17	1	△35
機能樹脂	1,209	1,284	75	93	119	26	21	1	4
ウレタン	1,183	1,163	△20	△48	△28	20	△7	16	11
基礎化学品	2,872	2,402	△470	△139	△56	83	△21	54	50
石 化	3,769	4,375	606	154	190	36	10	17	9
フィルム・シート	600	626	26	12	31	19	10	0	9
そ の 他	181	218	37	△42	△33	9	0	0	9
合 計	11,088	11,652	564	151	327	176	30	89	57

4) 営業外損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-12月 決 算	14年度 4-12月 決 算	増減	備 考
持分法投資損益	12	4	△8	
金 融 収 支	△29	△27	2	
為 替 差 損 益	7	60	53	
そ の 他	0	2	2	
営業外損益	△10	39	49	

5) 特別損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-12月 決 算	14年度 4-12月 決 算	増減	備 考
特別利益 (A)				
資 産 売 却 益	0	19	19	
受 取 保 険 金	7	-	△7	
特別利益計	7	19	12	
特別損失 (B)				
固定資産処分・売却損	14	24	10	
減 損 損 失	-	18	18	
事業構造改善費用	222	-	△222	13年度：ポリウレタン事業、 フェノール事業等
そ の 他	-	11	11	
特別損失計	236	53	△183	
特別損益 (A - B)	△229	△34	195	

6) 貸借対照表

(単位：億円)

摘 要	14年3月	14年12月	増減	摘 要	14年3月	14年12月	増減
流動資産	(7,771)	(7,864)	(93)	負債	(10,226)	(9,922)	(△304)
現 預 金	720	499	△221	買 掛 債 務	2,198	2,088	△110
売 掛 債 権	2,965	2,968	3	有利子負債	5,813	5,654	△159
たな卸資産	3,012	3,293	281	そ の 他	2,215	2,180	△35
そ の 他	1,074	1,104	30				
固定資産	(6,551)	(6,633)	(82)	純資産	(4,096)	(4,575)	(479)
有形・無形 固定資産	4,980	4,998	18	株 主 資 本	3,510	3,689	179
[うち無形]	[722]	[700]	[△22]	その他の包括 利益累計額	18	264	246
投 資 等	1,571	1,635	64	少数株主持分	568	622	54
合 計	14,322	14,497	175	合 計	14,322	14,497	175

7) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	13年度 4-12月 決 算	14年度 4-12月 決 算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	272	275	3
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△994	△256	738
フリーキャッシュ・フロー (A+B)	△722	19	741
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	815	△275	△1,090
IV. その他	33	21	△12
現預金等増減	126	△235	△361

2. 2014年度業績予想の概要

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。
従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

1) 2014年度 第4四半期のトピックス

<第4四半期トピックス>

(主な成長投資、新規稼働等)

- ・海外PPコンパウンド増強(北中米：4万トン)により、
グローバル100万t/年 体制確立（14年度末）
- ・中国機能性コンパウンド(MFS：ミラストマー[®]、アトマー[®])新設備稼働開始予定（1.1万t/年）

(構造改革、合理化)

- ・京葉エチレンからの離脱（15年3月）

2) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度決算 (a)		14年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		前回予想 (14.11.5発表)
	4-12月	年度	4-12月	年度	4-12月	年度	年度
売上高	11,088	15,660	11,652	15,640	564	△ 20	16,230
営業利益	151	249	327	400	176	151	400
営業外損益	△ 10	△ 24	39	20	49	44	△ 20
経常利益	141	225	366	420	225	195	380
特別損益	△ 229	△ 330	△ 34	△ 70	195	260	△ 70
税金等調整前 当期純利益	△ 88	△ 105	332	350	420	455	310
当期純利益	△ 185	△ 251	190	150	375	401	140
為替レト(円/\$)	99	100	107	109	8	9	105
国産カワ(円/KL)	65,700	67,300	68,900	62,500	3,200	△ 4,800	67,700
摘 要	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	年間
配 当	3円/株	-	2円/株	3円/株	△1円/株	+3円/株	5円/株
	通期	3円/株	通期	5円/株	通期	+2円/株	

3) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年実績)

(単位：億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	13年度 決算	14年度 予想	増減	前回予想 (14.11.5発表)	13年度 決算	14年度 予想	増減	前回予想 (14.11.5発表)
機能化学品	1,904	2,190	286	2,200	150	165	15	165
機能樹脂	1,767	1,730	△37	1,770	119	170	51	145
ウレタン	1,638	1,620	△18	1,620	△52	△10	42	△35
基礎化学品	3,762	3,170	△592	3,460	△174	△75	99	△75
石 化	5,524	5,780	256	6,030	253	180	△73	240
フィルム・シート	799	840	41	840	9	40	31	30
そ の 他	266	310	44	310	△56	△70	△14	△70
合 計	15,660	15,640	△20	16,230	249	400	151	400

4) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前回予想)

(単位：億円)

セグメント	14年度 売上高			14年度 営業利益			増減内訳
	前回予想 (14.11.5発表)	今回予想	増減	前回予想 (14.11.5発表)	今回予想	増減	
機能化学品	2,200	2,190	△10	165	165	0	
機能樹脂	1,770	1,730	△40	145	170	25	エラストマー取引条件改善
ウレタン	1,620	1,620	0	△35	△10	25	ポリウレタン材料取引条件改善
基礎化学品	3,460	3,170	△290	△75	△75	0	
石化	6,030	5,780	△250	240	180	△60	ナフサ価格下落による在庫評価差及び国内ポリオレフィン減販
フィルム・シート	840	840	0	30	40	10	電子・情報用フィルム増販
その他	310	310	0	△70	△70	0	
合計	16,230	15,640	△590	400	400	0	

5) 営業外損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度決算 (a)		14年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		前回予想 (14.11.5発表)
	4-12月	年度	4-12月	年度	4-12月	年度	年度
持分法投資損益	12	8	4	5	△8	△3	10
金融収支	△29	△33	△27	△40	2	△7	△40
為替差損益	7	2	60	60	53	58	18
その他	0	△1	2	△5	2	△4	△8
営業外損益	△10	△24	39	20	49	44	△20

6) 特別損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度決算 (a)		14年度予想 (b)		増減(b)-(a)		前回予想 (14.11.5発表)
	4-12月	年度	4-12月	年度	4-12月	年度	年度
特別損益							
資産売却益	0	25	19	19	19	△6	2
受取保険金	7	41	-	-	△7	△41	0
固定資産処分・売却損	△14	△23	△24	△40	△10	△17	△40
減損損失	-	△5	△18	△18	△18	△13	△18
事業構造改善費用	△222	△368	-	-	222	368	0
その他	-	-	△11	△31	△11	△31	△14
特別損益計	△229	△330	△34	△70	195	260	△70

7) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	13年度決算		14年度予想		増減 (b)-(a)	前回予想 (14.11.5発表)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)		年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	272	435	275	630	195	510
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△994	△898	△256	△450	448	△460
フリーキャッシュ・フロー (A+B)	△722	△463	19	180	643	50
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	815	669	△275	△420	△1,089	△300
IV. その他	33	56	21	0	△56	0
現預金等増減	126	262	△235	△240	△502	△250

【補助資料】主要製品価格の状況

(P E 国内、 P P 国内、 P H 国内、 B P A 国内 : 国内価格改定幅)

年		2012年				2013年				2014年			
月		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
国産基準 力サ価格	(円/KL)	54,100	60,600	49,800	55,800	63,800	65,500	63,900	67,800	72,000	69,900	70,900	66,000
P E 国内	(円/KG)	△5円 程度	+20円 程度	△20円 程度	+10円 程度	+15円 程度	+5円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	→	→	→
P P 国内	(円/KG)	△5円 程度	+20円 程度	△20円 程度	+10円 程度	+15円 程度	+5円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	→	→	→
P H 国内	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
B Z (* A C P)	(\$ / T)	\$1,160	\$1,160	\$1,110	\$1,320	\$1,430	\$1,310	\$1,250	\$1,290	\$1,330	\$1,270	\$1,380	\$1,060
B P A 国内	(円/KG)	△30円	+25円	△14円 (8月~)	+13円 (11月~)	+36円 (3月~)	→	→	→	+21円 (3月~)	→	→	→
B Z ・ B P A 市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$ / T)	\$1,730	\$1,690	\$1,690	\$1,750	\$1,920	\$1,740	\$1,660	\$1,630	\$1,660	\$1,670	\$1,910	\$1,620
P T A 中国市況	(\$ / T)	\$1,180	\$1,070	\$1,030	\$1,120	\$1,170	\$1,050	\$1,080	\$1,020	\$940	\$910	\$980	\$760
P X (* A C P)	(\$ / T)	\$1,560	\$1,500	\$1,340	\$1,530	\$1,630	\$1,410	\$1,450	\$1,440	\$1,300	\$1,260	\$1,350	\$1,040
T D I 中国市況	(\$ / T)	\$2,560	\$3,030	\$2,830	\$2,770	\$2,680	\$2,530	\$2,375	\$2,340	\$2,330	\$2,320	\$2,340	\$2,280

*ACP アジア圏契約価格

（主な成長投資、新規稼働）

- ・米国Corning社の調光レンズ材料「SunSensors®」譲受け（14年5月）
- ・BASFと新規殺虫剤のグローバル共同開発契約締結（14年6月）
- ・歯科材用3Dスキャナー・CADソフトウェアのイタリアEGS社を買収（14年7月）
- ・LIBの熱暴走を抑制するSTOBA®の製造販売に関する特許独占ライセンス取得（14年9月）
- ・企画・設計・試作機能を有する金型メーカーの共和工業を買収（14年9月）
- ・たはらソーラー・ウインド営業運転開始（14年10月）
- ・韓国でのマーケティング拠点「三井化学(株) 韓国支社」を設立（14年10月）
- ・五感や五体の課題を抱える人々に革新的なヘルスケア・ソリューションを提供するブランド「Whole You™」が誕生（14年11月）
- ・新規特殊イソシアネート2製品の事業化決定（2,000t/年：14年12月）
16年度上期に大牟田工場内に2,000t/年の増強を行い、量産体制を整える予定。
- ・中国EPT(SSME)稼働開始（7.5万t/年：14年12月）
- ・韓国SKC社とのポリウレタン材料事業統合に関する合併契約締結（14年12月）

（構造改革、合理化）

- ・市原BPA停止(9万t/年)およびシンガポールBPA 1系列休止(7万t/年) → 14年3月末実施済
- ・有機酸事業承継の事業譲渡契約締結（14年7月）
- ・千葉フェノール（25万t/年）停止完了（14年9月）
- ・有機酸事業承継の事業(営業権)譲渡（14年10月）
生産設備(生産能力:無水マレイン酸 3.2万t/年、フマル酸 1.5万t/年)については、TDI設備等の撤去工事終了後(17年度上期中を目途)
- ・千葉地区LLDPE設備1基停止（6万t/年：14年10月）
- ・中国PH(SSMC)稼働開始（PH 25万t/年、AC 15万t/年：14年12月）



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する